

業界初 3 社合同！

食事・生活改善・行動変容など多角的アプローチで脳の健康を目指す
2025/4/10（木）説明会 @大手町

PwC 財団助成事業 2024 年度秋期ウェルビーイング（認知症の予防と共生）

ミツフジ株式会社、株式会社 bacterico、ノクターンキャピタル株式会社

公益財団法人 PwC 財団（東京都千代田区、代表理事：日向昭人、以下財団）は、助成事業 2024 年度秋期ウェルビーイング（認知症の予防と共生）において、ミツフジ株式会社（以下ミツフジ）、株式会社 bacterico（以下 bacterico）、ノクターンキャピタル株式会社（以下ノクターンキャピタル）の 3 社を採択しました。今回、3 社の事業が対象とする社会課題や実証実験の概要紹介のため、4 月 10 日（木）13:30 より、説明会を開催いたします。

助成事業 2024 年度秋期ウェルビーイング（認知症の予防と共生）の目的

助成事業 2024 年度秋期ウェルビーイング（認知症の予防と共生）では、当財団の助成事業の対象テーマである「インクルージョン&ダイバーシティ（I&D）支援事業」の一環として、脳の健康状態を知ることができる国際標準規格 BHQ*とテクノロジーのかけ合わせによる認知症の予防や認知症患者との共生に向けた取り組みを通じて、認知症にかかわるすべての人々が健やかに生きることを目指す活動を対象に公募を行い、2024 年 7 月より上記 3 社を助成先団体として支援しています。

*BHQ：Brain Healthcare Quotient。脳の健康状態を可視化する国際標準規格。

(ITU-T H.861.1 Requirements on establishing brain healthcare quotients)

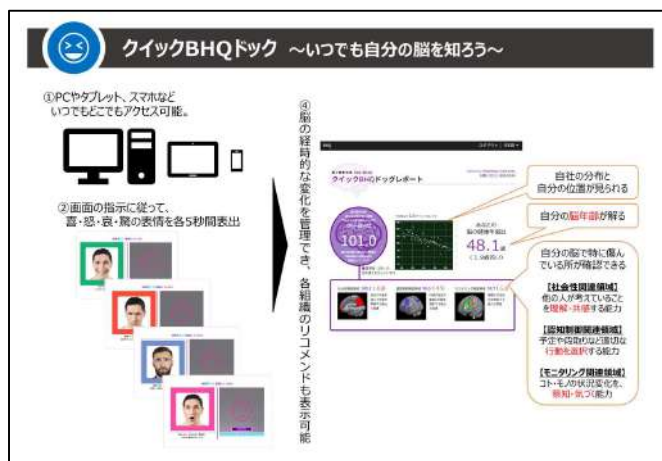
業界初！ 3 社合同説明会

【内容】

- ・ 事業が対象とする社会課題について
- ・ 実証実験の概要説明

「脳の健康改善」に繋がるライフスタイルを目的として、ミツフジは、スマートウォッチを用いたバイタルデータ分析技術によるメンタルヘルスの改善を目指し、bacterico は腸内細菌と脳機能の関連を研究し、個別化された健康介入策を提供します。また、ノクターンキャピタルは、BHQ と Deep Tech の融合による最先端研究の成果を社会実装へとつなげる役割を担っています。各社の専門技術と知見の活用により、企業や社会全体の健康改善の実現が期待されています。

具体的には、アプリとアンケートを用いて、食生活、運動習慣、学習頻度、文化活動などが脳の健康にどのように影響するのかを明らかにします。当説明会では、3 社から、上記についてのご説明とともに、現在進行中の実証実験（クイック BHQ ドックおよびオンラインアンケート）の中間報告を行います。



【開催概要】

『PwC 財団助成事業 2024 年度ウェルビーイング（認知症の予防と共生）』説明会

日時：2025 年 4 月 10 日（木）13:30-15:00※13:00～受付開始予定

場所：東京都千代田区大手町 1-2-1 Otemachi One タワー 18F Seminar Room 02

タイムテーブル：

13:00～ 受付開始

13:30～ 説明会開始

～ご挨拶

～各団体の事業内容の説明

～実証実験の説明

～質疑応答

登壇者



山川 義徳（PwC 財団ウェルビーイング（認知症の予防と共生）プログラムオフィサー）

これまで官公庁や大学、総合電機メーカー、コンサルティングファームに所属し、産官学それぞれの立場で、脳科学の産業創出を推進してきた。現在は先端科学の研究開発や概念実証を行う Research/PoC チームをリード。脳科学を起点に、先端技術の研究（学）×国際標準規格の策定（官）×事業戦略の策定（産）を効果的に推進するロールモデル開発を実践している。



三寺 歩（ミツフジ株式会社 代表取締役社長）

大学卒業後、松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社）に入社し、大手法人顧客を担当。その後シスコシステムズ合同会社、SAP ジャパン株式会社、ブルーコートシステムズ合同会社を経て、2014 年に三ツ富士繊維工業株式会社（現ミツフジ株式会社）に入社、代表取締役社長に就任。廃業寸前から自社開発の銀めっき導電性繊維に特化したビジネスモデルに移行し、ウェアラブル IoT 事業に転換した取組みが評価され、2018 年第 1 回 Forbes JAPAN "SMALL GIANTS AWARD" グランプリを受賞。



小林 宜文（株式会社 bacterico 取締役 CHO）

精神疾患領域の創業スタートアップ株式会社 RESVO（レスポ）元代表取締役。挑戦の最中にうつ病を発症し、2020 年に代表を退任。回復後、挑戦する人のメンタルヘルスを支援する団体 Re（アールイー）を設立。その後、脳腸相関を活用したメンタルヘルスの可能性に惹かれ、株式会社 bacterico に参画。取締役 CHO として事業を牽引。



岡本 摩耶（ノクターンキャピタル株式会社 代表取締役）

研究者、コンサルタント、ベンチャーキャピタリストとして、研究・ビジネス・政策の橋渡しに従事。神戸大学で博士（医学）号を取得後、ハーバード大学でヘルスケア・環境領域のビジネス/マネジメントを学ぶ。2024 年 6 月、ノクターンキャピタルを設立、代表取締役として地域のイノベーション促進、次世代の経営人材育成に尽力。京都大学経営管理大学院客員教授を兼務（新技術の社会実装に係る ELSI、ビジネスモデルの構築）。産官学金の全てのセクターでの勤務経験を有する。



金井 あや（PwC 財団 事務局長）

PwC コンサルティング合同会社より兼務出向。新卒でコンサルティングファームに入社し、主にサプライチェーンマネジメント（SCM）領域の BPR 関連プロジェクトを経験後、欧州や東南アジアなどにおけるグローバルオペレーション改革プロジェクトを担当。また国際機関や NPO で難民の保護や支援、公衆衛生に取り組んだ経験を持つ。2024 年 7 月より事務局長就任。

PR 事務局：株式会社フロンティアコンサルティング 担当：大須賀／高野
TEL：03-5216-3544 / 070-6463-0490（大須賀携帯） E-mail：info@frontier-c.co.jp

会社概要

【PwC 財団】

名称：公益財団法人 PwC 財団（英語名：PwC Foundation）

URL：www.pwc.com/jp/pwc-foundation

所在地：東京都千代田区大手町 1 丁目 2 番 1 号

代表理事：日向 昭人

設立日：2020 年 5 月 1 日一般財団法人として設立（2021 年 5 月 1 日公益財団法人へ移行）

主な事業内容：

教育やアップスキリング（スキルの向上）、個性や多様性（インクルージョン&ダイバーシティー（I&D））の支援、環境問題への対策における課題解決に向けて支援を行う団体への公募助成。

【ミツフジ株式会社】

名称：ミツフジ株式会社（英語名：MITSUFUJI CORPORATION）

URL：<https://www.mitsufuji.co.jp/>

所在地：京都府相楽郡精華町光台 1 丁目 7 けいはんなプラザ ラボ棟 13 階

代表取締役：三寺 歩

設立日：1979 年 3 月 30 日

主な事業内容：

京都府精華町に本社を置くウェアラブル IoT 企業。1956 年伝統的な西陣織の帯工場として創業。その後、繊維産業の衰退とともに新たな事業を模索する中で、銀めっき繊維に出会い自社で研究開発を開始。2002 年に抗菌防臭や電磁波シールドなどの機能に優れた銀めっき繊維 AGposs®を発表。現在は銀めっき繊維の導電性に着目し、着るだけで体の状態がわかるウェアラブル製品「hamon」や「MITSUFUJI 01」の開発、猛暑リスク検知に着目したリストバンド「hamon band」シリーズ、LTE 通信機能を有し、遠隔での体調管理が可能なスマートウォッチ「MITSUFUJI 03」などの開発を手掛け、ウェアラブル IoT ソリューションとして必要な要素を“ワンストップ”で提供。

【株式会社 bacterico】

名称：株式会社 bacterico（英語名：Bacterico Inc.）

URL：<https://bacterico.co.jp/>

所在地：大阪市北区堂山町 1-5 三共梅田ビル 7 階

代表取締役：菅沼 名津季

設立日：2020 年 11 月 11 日

主な事業内容：

腸内細菌のデータを収集・解析し、個々の腸内環境に基づいた個別化ヘルスケアサービスを提供。検査結果をもとにパーソナライズドな栄養指導や食事提案の実施や、個別化医療や予防につながるプロバイオティクス製剤の研究開発を実施。医療機関や企業と連携し、革新的な健康サポートサービスの共同開発を推進。

【ノクターンキャピタル株式会社】

名称：ノクターンキャピタル株式会社（英語名：Nocturne Capital Co., Ltd.）

所在地：茨城県つくば市緑ヶ原 4 丁目 1 9-1

代表取締役：岡本 摩耶

設立日：2024 年 6 月 6 日

主な事業内容：

テクノロジーとヘルスケア分野のシード・アーリーステージ企業を支援するベンチャーキャピタル。投資だけでなく、経営人材のマッチングや事業戦略の策定を通じて、スタートアップの成長を総合的に支援。つくばを拠点に地域のイノベーション促進や起業家育成にも注力し、次世代のリーダーを育成する仕組みを構築。さらに、最先端技術や市場動向を発信する「ノクターン・テクノロジー・レビュー」を発刊し、行政、投資家、ビジネス関係者、研究者、一般市民等に向けた情報提供を行う。

PwC 財団助成事業
2024 年度秋期ウェルビーイング（認知症の予防と共生）
4 月 10 日（木）13:30～

ご取材頂ける場合は、お手数ですが、4 月 8 日（火）17:00 までにご連絡ください。
※ご参加について、スペースも限られておりますのでお早目のご検討をお願い致します。

メールの場合はこちらへ info@frontier-c.co.jp

FAX の場合はこちらのフォームをご利用いただき、以下の番号へお願い致します。

03-6893-3634

※ご不明な点、お問合せは上記メールアドレスまでご連絡ください。

■ 説明会 ご出席 or ご欠席

学会名 : _____

氏名 : _____

来場人数 : _____ 計 (_____) 名様

TEL : _____ / 携帯番号 : _____

メールアドレス : _____

その他ご要望等 :